

伊豆の名山にシャクナゲを訪ねる
天城山 万二郎岳・万三郎岳

実施日 2011年6月4日(土)
天候 晴れ
リーダー 涌井 良明
参加者 上野キヨ、伊東勝昭、涌井良明、鈴木政三、山崎富美恵、鈴木恵美子、小村井好江、伊藤久雄、石原勝正、古川美恵子、宮下良之 計11名
費用 JR7,780円(東京起算新幹線利用)バス1,000円
タイム 伊東駅(7:45~7:55)天城高原ゴルフ場BS(8:50~9:00)四辻(9:19)万二郎岳(10:10~10:20)万三郎岳(11:50~12:30)昼食(12:35)下山分岐(12:35)澗沢分岐(13:10)四辻(14:25)天城高原ゴルフ場BS(14:45~15:10)
データ 積算距離 7.72 km
総上昇量 722m
移動時間 3h04m
停止時間 2h41m
移動平均速度 2.5 km

夏を思わせる快晴に恵まれて、りっぱな案内板のある登山口をスタート。しつとりとした樹林帯の道が澗沢を渡って少し登



り下りすると四辻で、今日はここが起点になる。周回コースである。展望は全くない樹林の緩い登りを行

くが、木漏れ日に輝る萌木色の鮮やかさが退屈させない。深林浴気分が時折現れるミツバツツジもアクセントを添えている、季節柄入山者も多く、のんびりピッチで歩き、ノンストップで万二郎岳に着く、樹林の頂でしばし休憩するがやはり山、少し風が冷たく感じられる。

天城の盟主の万三郎岳へ進む、すぐ下りになり展望岩で本日唯一の眺望を楽しむ、下りきると緩い登り返しで馬の背。アセビのトンネルを過ぎ、岩



の混じった急下降になるとシャクナゲ発見、石楠立になる。盛りはやや過ぎてしまった感じだが、それなりに淡いピンクの花びらが美しい、頻りに写真撮りて停止時間が長くなり一本たてる暇もない？



やや急登になるがここも撮影タイムにかこつけて休んでしまう。アマギシヤクナゲは花も木も大きめで温暖地域の



花らしい感じだが、個人的はもう少し上品な感じのほうが好きかもね。てなこと思っているうちに万三郎岳に着いてしまった。一等三角点設置の山頂だがここも展望は得られない。当然人も多いがここで昼食にする、木陰を選んで腰を下ろすが、夏山になったなあ、と思う。写真を撮ってシャクナゲ

コース経由の下山にかかる、すぐに天城縦走路と下降点の分岐になり、階段下りが始まる、土が抉られて段木だけが存在感を主張する階段を下る、先行パーティのつたなく且つ遅い歩きに合わせて我がパーティもこれ以上は遅くは歩けないほどのピッチで下り続ける。下りが一段落すると澗沢分岐点になるが、北側への道は通行できないようだった。この先は左側が切れ落ちた北面のトラバース道を歩く、数回小さな沢を横切りながら下らない



道が続く、展望は無いので時折見せる輝く若葉に慰められる。尾根を右方に大きく回り込み、シャラの美林を抜けるとしばらくで、四



辻に戻る。後は左へ、緩く登降をして、登山口に帰り着きバス停へ、今日は無事着席、居眠りもできて伊東へ。皆さんお疲れ様でした。天気良ければ全て良し、ン？

(記&写真・涌井 良明)